

令和 5 年度第 1 回成田市環境審議会

【令和 5 年 6 月 30 日(金)】

環境審議会委員からの意見及び回答

成田市環境部

番号	委員名	資料名
1	藤村 葉子 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第9頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>9 ページ 28 行目「2018(平成 18)年 6 月」の次に「に閣議決定された」と入れてはどうですか？「第四次循環型社会形成推進基本計画」が国の計画であることがすぐわかったほうがいいと思います。</p>		
<p>【回答】</p> <p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>		

番号	委員名	資料名
2	原 慶太郎 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第14頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>p.14 ②植生</p> <p>1 段目：成田市の植生はヤブツバキクラス域に属しているのは正しい記述ですが、あくまでも潜在自然植生の話です。当地の現存植生としては、極相林であるスタジイ林やタブ林が社寺林などに残存し、他の多くの森林は伐採され、コナラ林などの二次林やスギ・ヒノキ植林となっていることを記すべきです。2 段落め：「かつては薪炭林として利用が行われ」などの記述とすべきです。</p>		
<p>【回答】</p> <p>ご指摘をふまえて文章の記述を修正いたします。</p>		

番号	委員名	資料名
3	藤村 葉子 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 14 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>14 ページ 9 行目「ヤブツバキクラス」の次に「域」を入れては如何ですか？ 同ページ下から 2 行目「ヤブツバキクラス」の次も同様「域」を入れては如何ですか？一般に「域」という言葉が入っているように思えます。</p> <p>14 ページ「成田市の地形」の図の凡例が全く読めません。成田市の地形の図は思い切って拡大して凡例が読めるようにしては如何ですか？</p>		
<p>【回答】</p> <p>表記を「ヤブツバキクラス域」といたします。</p> <p>文章と図のレイアウトを再考し、変更しました。また、図の見やすさを考慮し、国土地理院の地図を加工した地勢等高線図を採用しました。</p>		

番号	委員名	資料名
4	藤村 葉子 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 16 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>16 ページ「市内河川の水質状況（BOD）年平均値の推移」のグラフでは地点名は書いてありますがどこの河川の本川か支川かわかりません。</p> <p>「成田市の環境 2022 年版」52 ページ図 2-2-2 水質・底質図を加工し、河川以外の調査地点や底質調査地点を消して印旛沼の北印旛沼の真ん中に黒丸（水質調査地点）を入れたものを図として示すとわかりやすくなると思います。</p>		
<p>【回答】</p> <p>ご指摘いただいたとおり、成田市の環境に掲載している水質・底質図を加工した水質調査地点図を追加しました。また、河川の測定地点数を修正しました。</p>		

番号	委員名	資料名
5	入江 龍夫 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 18 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>18頁、のゴミの排出量に於いて、成田市民一人当りのゴミの総排出量が現状1,032g/人・日ですが、この数値は事業者の出す廃棄物と一般家庭から出る廃棄物の合算重量を、市民の数で割ったものでしょうか。</p> <p>また、緑地・中央分離帯の草刈りや、街路樹の剪定をした後の葉や枝も廃棄物に勘定されるのでしょうか。</p> <p>もし除草、剪定後に出る枝や葉が廃棄物に勘定されるならば、54頁の3-2-1で述べられている「まちなかの緑の創出」を進めることにより、廃棄物は増加するのではないのでしょうか。また、緑化を推進することにより、各家庭から出る枝や葉の量も増えると思います。</p> <p>緑化を維持することにより排出される枝や葉は、別な分類にしたほうが良いのではと思慮いたします。</p>		
<p>【回答】</p> <p>1人一日あたりの排出量については、生活系ごみと事業系ごみ及び集団回収量を合計した排出量を、市の人口で割って算出しております。</p> <p>緑地・中央分離帯の草刈りや街路樹の剪定によって発生した葉や枝などについては廃棄物として処理されますが、当該廃棄物は有効性資源であることから、枝木をチップ化する取組を行うことや、千葉県からの通知に基づき、民間再生資源化施設を含め堆肥化等による有効利用に努めてまいります。また、自己搬入された枝木や草については資源化する取組みを行っております。</p>		

番号	委員名	資料名
6	藤村 葉子 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 41 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>41 ページ「将来環境像」の 3 つの楕円のうち、真ん中のグレーの楕円の位置が右にずれています。特に意味が無ければ中央に揃えてはどうか？</p>		
<p>【回答】</p> <p>ご指摘のとおり中央揃えに修正いたします。</p>		

番号	委員名	資料名
7	藤村 葉子 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 46 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>46 ページ体系図の「基本目標Ⅰ」と「基本目標Ⅱ」と「基本目標Ⅲ」の活字の大きさが違って違和感があります。できれば揃えてはどうか？</p>		
<p>【回答】</p> <p>ご指摘の部分についてフォントを修正いたします。</p>		

番号	委員名	資料名
8	入江 龍夫 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第53頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>53頁3-1-2の⑤に「休耕地の管理」</p> <p>パンデミック等非常事態の際、食糧増産を指示するとの政府の発表が先日ありました。休耕地をすぐ使用できるようにするためには、重要なことと考えます。具体的な方策等の立案を検討いただければと考えます。</p>		
<p>【回答】</p> <p>農業委員会では、毎年すべての農地について利用状況の調査を行い、遊休農地となっている場合は、農地としての適正な管理をお願いするとともに、今後の利用の意向について調査し、遊休農地の解消に向けた取り組みを行っております。</p>		

番号	委員名	資料名
9	入江 龍夫 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 54 頁	

【意見・質問】

54頁3-2-2の③に「空地の環境美化、空き家等対策の推進」とありますが、具体的な計画・マイルストーンはありますか。

成田市には首都圏に向かってJRが2路線、私鉄が2路線あります。首都圏に向かう交通インフラは整っていると思います。成田市の将来像として「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」を実現するためと、若いカップルに住んでもらえるよう、空き家（URのアパート、公務員住宅等）を活用し、良質な低家賃の住宅を提供することも必要ではないでしょうか。

また、首都圏を将来襲うかもしれない大地震の被災者受け入れ等も考慮に入れて空き家等の対策を進めるのも一法かと考えます。

【回答】

空地の環境美化に関してましては、本市では、「成田市空き地に係る雑草等の除去に関する条例」を制定し、空き地の所有者や管理者に対して、当該地に雑草等が繁茂したままにならないよう適正に管理する義務を定め、自主的に雑草を刈り取ることなどをお願いしています。繁茂している土地の所有者に対しては、期限を定めて適切な管理をするよう口頭・文書にて指導しています。また、空き地の所有者や管理者に対しては、適正に管理できるよう草刈り機の貸出しを行っています。

空き家等対策の推進に係る計画としましては、令和5年3月に策定しました「第2次成田市空家等対策計画」がございます。計画の目標指標として、パンフレットの配布による空き家化の予防、空き家バンクを活用した空き家の流通・活用促進、空き家所有者に対する助言・指導等による特定空家化の予防を掲げております。本計画につきましては、市ホームページへ掲載しているほか、市役所建築住宅課・下総支所・大栄支所窓口へ配架しているところです。空き家の活用に関しましては、平成29年度よりUR都市機構から借上げを行っており、これまでに47戸を借上げ市営住宅として転貸・運営しております。また、今年度につきましては新たに4戸を借上げ予定となっております。なお、空き家については、所有者の財産であることから、所有者の意向に委ねられるところではありますが、いただいた提言につきましては、貴重なご意見として参考とさせていただきます。

番号	委員名	資料名
10	菅澤 麗子 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 54 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>市民のアンケート調査結果より、2030 年までに国の温室効果ガスを 46%削減する目標について「実現は難しいが、対策を行う必要がある」の回答が 63%となっており計画に対して懸念が感じられます。その一方でカーボンニュートラルの実現については、「負担があっても取り組むべき、多少の負担があっても我慢する」との回答は 58%となっていて、取り組みには、前向きの姿勢が示されています。</p> <p>P54 の 3-2-1, ④の”住まい周辺の緑化推進への支援”とありますが身近なところであれば市民も手始めに取り掛かりやすいと思われるので具体的な支援内容ついて教えてください。</p>		
<p>【回答】</p> <p>緑の募金市町村交付事業交付金を活用し、4月20日前後のみどりの日の前に球根の配布、10月の鉄道の日イベントの際に球根及び花苗の配布、1月の消費生活展の際に花苗の配布を行い、緑化への啓発を図っております。また、なりた環境ネットワークの事業として、4月中旬から緑のカーテン推進のため、アサガオ・ゴーヤなどの種の配布も実施しております。</p>		

番号	委員名	資料名
11	原 慶太郎 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 72 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>p.72 重点プロジェクトⅢ</p> <p>最近、この分野では、3R から 4R へと転換し、積極的な循環型まちづくりを進める自治体が増えてきました。ここでも、Refuse（リフューズ：断る）を加え、4R として施策を展開するのがよいように考えます。</p> <p>p.100 の資料編にこの 4R のことが記載されていましたが、本文中の記載をみつけることができませんでした。</p>		
<p>【回答】</p> <p>ゼロカーボンシティ宣言においては、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の 3R を推進し、循環型社会の構築を目指しております。Refuse(リフューズ)を加え 4R、Repair（リペア）を加え 5R とする考え方については承知しておりますが、それぞれ 3R の取り組みと通じていることから、今後も着実に 3R を推進してまいりたいと考えております。4R、5R の説明については資料編のなかでのみの説明に留めております。</p>		

番号	委員名	資料名
12	藤村 葉子 委員	成田市環境計画中間見直し（案）
該当頁	第 72 頁、第 75 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>72 ページ「3R によるまちづくり」の中で、「プラスチック問題」と「食品ロス問題」について触れられてないのは、違和感があります。9 ページに国の動向としてプラスチック問題と食品ロスが挙げられているのに具体的な取り組みで触れられていないのはおかしいと思います。</p> <p>例えば 72 ページ「(1) プロジェクトの目的と重点的取り組み」の 3 行目「～大量の廃棄物が発生し」の次に「食品ロスの問題も生じています。」と入れ、4 行目「また、自然界で分解されにくい」の次に「プラスチック等の」を入れては如何ですか？</p> <p>同じく、75 ページ「市民の取り組み」4 行目「詰め替え商品を選ぶ、レジ袋を断る、」の次に「使い捨てプラスチックの使用を減らす、」を入れては如何ですか？</p> <p>同じく 10 行目「●生ごみの水切りや堆肥化、食べ残しをしないなど、」の次に「食品ロスを減らし生ごみの減量化を進めます。」としては如何ですか？</p> <p>また、「事業者の取り組み」の 5 行目あたりに</p> <p>「●食品ロス削減の取り組みを行います。」を入れては如何ですか？</p>		
<p>【回答】</p> <p>ご指摘のとおり文章を修正いたします。</p>		

番号	委員名	資料名
13	藤村 葉子 委員	成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案
該当頁	第4頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>4 ページ「6. 計画の構成」において、第8章の次に「環境配慮指針」とありましたが、本編に環境配慮指針が見当たりません。「構成」に書くのなら載せ、載せないのなら「構成」から削除してはどうですか？</p>		
<p>【回答】</p> <p>環境配慮指針については、2018(平成 30)年 3 月に策定された本計画と同時に別冊として公表しており、市のホームページなどで公開しております。この指針については、この度の中間見直しに合わせて細かい部分について修正を行い、計画策定と同時に公表する予定でおります。ご指摘の部分については、本編と併せて別冊と表記を付け加えます。</p>		

番号	委員名	資料名
14	木村 容子 委員	成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案
該当頁	第31頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>表 4-4 と表 4-5 について 削減見込み量の計算ですが、数字の大きさが随分違います。 表 4-5 を最下にして、表 4-4 の文字の配置を工夫すれば数字を大きく出来るのではないかと思います。</p>		
<p>【回答】</p> <p>表 4-4 について、バランスを検討し、文字を大きくしました。</p>		

番号	委員名	資料名
15	原 慶太郎 委員	成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案
該当頁	第 35 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>p.35 コラム</p> <p>この中に記載されている「極相林では二酸化炭素吸収量が±0になる」という考え方は旧来さまざまな教科書にも記載されてきましたが、近年、これに反する知見も見出され、検討を要する項目です。このような断定的な記載は改めるべきです。少なくとも最後の段落は、森林が二酸化炭素の吸収源となっていることに対する反証のように捉えられるので、書き換えが必要であると考えます。</p> <p>この件、旧来いわれていたことに対して新しい知見がでて、ということで意見さしあげました。</p> <p>いろいろと調べてみましたが、この分野の専門家でないと、判断つきかねる状況のようです。この時点で断定的な記述は避けるべきだというのが私の意見です。</p> <p>たとえ極相林でプラマイゼロになったとしても、極相林としての長時間にわたる貯留の意義は大きく、また、生物多様性はじめ様々な生態系サービス供給の源泉となっています。それらを踏まえた記述にしていただければ、と思います。よろしくお願いたします。</p>		
<p>【回答】</p> <p>ご指摘をふまえて、コラムの記述を修正いたします。</p>		

番号	委員名	資料名
16	木村 容子 委員	成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案
該当頁	第 41 頁～	
<p>【意見・質問】</p> <p>一番大切と思われる 5 章、6 章の「重点取り組み」1～6 の「各主体の重点的な取り組み」の列挙がとても多いので、読むだけでも大変です。</p> <p>それぞれの重要な単語等を太文字にしては如何でしょうか？</p>		
<p>【回答】</p> <p>検討した結果、全体のバランス等を考慮し、現状維持といたします。</p>		

番号	委員名	資料名
17	木村 容子 委員	成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案
該当頁	第 41 頁～	
<p>【意見・質問】</p> <p>重点取り組みの中の「市の取り組み」の責任又は主体となる係を明記することは出来ないでしょうか？</p>		
<p>【回答】</p> <p>各取り組みにおいては、1 つの課が取り組みの主体になるわけではなく、複数の部署が関わり、必ずしも所管課が定められておらず、市が全体で取り組んでいくような取り組みが多くあります。検討の結果、相当数ある取り組みについて全て所管課を特定して示すことは、該当部分にはなじまないと考えております。</p>		

番号	委員名	資料名
18	木村 容子 委員	成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案
該当頁		
<p>【意見・質問】 各章の見出しを大きくして、メリハリを付けた方が良くと思います。</p>		
<p>【回答】 ご指摘をふまえて、各章の見出しのフォントを大きく修正しました。</p>		

番号	委員名	資料名
19	木村 容子 委員	成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案
該当頁		
<p>【意見・質問】 所々にコラムがあるのは大変良いと思いますが、コラムの「一寸ひと息感」を出すために枠のデザインを優しい感じにしては如何でしょうか？</p>		
<p>【回答】 コラムに関するページについて本計画書のイメージに合うデザインを検討し、修正しました。</p>		

番号	委員名	資料名
20	木村 容子 委員	成田市役所エコオフィスアクション 第5次成田市環境保全率先実行計画（案）
該当頁	第9頁	

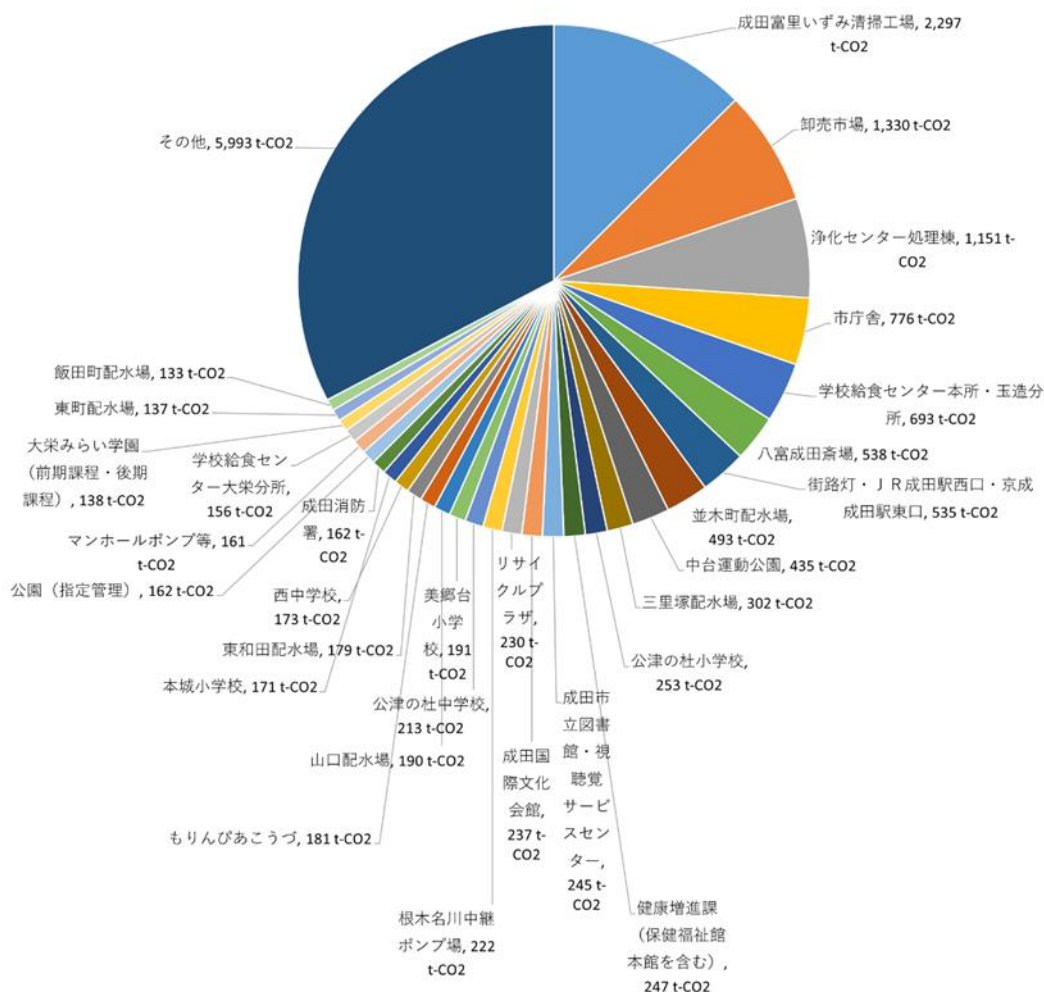
【意見・質問】

図2について、公津の杜小学校が1%となっていますが、他の小学校は1%未満ということですか？

【回答】

細かく見ると公津の杜小学校は1.38%で、グラフではこれを丸めて1%と表示しています。他の小学校はこれ以下となります。

前回の審議会（本年1月27日開催）で配布した「環境審議会委員からの意見及び回答」の45頁より引用した下記のグラフに他の小中学校が表示されておりますので、参考にしてください。



番号	委員名	資料名
21	木村 容子 委員	成田市役所エコオフィスアクション 第5次成田市環境保全率先実行計画（案）
該当頁	第27頁	

【意見・質問】

（中略）「市の取り組み」の責任又は主体となる係を明記することは出来ないでしょうか？あまりにも課題が多いので、課をあげて（係をまたいで）取り組まれることと思いますが、責任所在を明確にすると良いのでは？と思います。

エコオフィスアクション編の27ページからの「日常業務での取り組み」の「主体」には殆ど「各職員、各部署」とあり、曖昧過ぎます。

【回答】

「日常業務での取り組み」の多くは各部署・職員共通の取り組み事項となっております。例えばこまめな消灯や紙類の消費削減はどの部署でも取り組むべき事項がありますが、これらを業務に即しながら適切に取り組むことができるのはその業務を遂行する部署、職員ですので、それ以外の他の部署・職員が責任を持って推進するという方法にはなじまないとの考えから主体を「各職員、各部署」といたしました。